

活動報告書

■団体名

CAP おかやま

■支援金配分情報

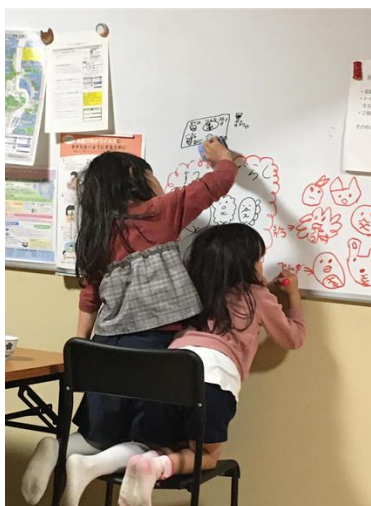
期	支援金使途	金額
1	—	— 円
2	助産師によるオンライン相談対応・オンライン講座の開催と、三密を避けてのサロンやカフェ開催に必要な衛生用品	191,806 円

■活動報告

「博士の家みんな食堂」「ほっとカフェ」「おしゃべりサロン」「和みのヨーガ」「こころといのちの勉強会」等の実施。会場での集まりはなかなか厳しく、オンラインでの開催に切り替えることで、多くの方に繋がることができました。開催はのべ 108 日、1060 名の方にご参加いただきました。

支援を必要とされている方は思っていた以上に多いこと、食堂代(おとな 300 円・小学生 100 円)を払うことさえ躊躇するほど家計が逼迫している家庭が少なくないこと、物資を手渡することで「よかった〜」「助かります」とほっと一息つかれ、弱音を吐くひとときともなること、つまり、普段の生活で生きづらさや苦しさを語る事ができる相手が身近にいない状態を少しでも変える瞬間を提供できました。

参加されることで、孤立感を抱えた人が「自分は一人ではない」と思え、新しい気付きを経て心が軽くなり前向きになれたという感想をいただいています。共に語り合う場であるカフェ、わが子の発達に悩む親が専門家に気軽に相談できる場である子育てサロン、自分で自分の心身を整え心穏やかな状態に戻ることのできるヨーガ、新たな見識や価値観に触れる本読み会のどれもが、孤立を防ぎ、楽しんで子育てをする上で重要な役割を担っていることを再確認する時間となりました。



【寄付者のみなさんへのメッセージ】

たくさんの皆さんの温かいお心を頂戴して、場の安心を守る衛生用品を購入したり、専門家をお呼びして、安心感をお届けしたりすることができました。ありがとうございました。まだまだ、厳しい日々が続きます。身を守りながら、子育て中の方への暖かなまなざしやお心遣いをいただけましたら、幸いです。これからも、共に、子どもを！子どもを育てている家族を！暖かく支えていきましょう！お支えをいただき、本当にありがとうございました。